



健康マーじゃん 安全対策徹底

NPO法人ライフアップ理事長 蒲原 史起さん(51) 豊平区

「お金を賭けない」「たばこを吸わない」「お酒を飲まない」をモットーとする「健康マーじゃん」。蒲原さんのNPO法人はこの普及を目指し、主に女性を対象に、札幌市9、石狩市1の計10サークル(休止中を含む)を運営しています。

コロナ禍で2月下旬から8月末まで、活動は停止。そこで工夫したのが飛沫防止シートで、4隅に支柱を立て、卓を四つに区切っています。「ホームセンターなどで材料をそろえ、試行錯誤で4回失敗して実用化にこぎつけました」

9月からこれを使って、徐々にサークルの活動を再

開。参加者からは「これなら安心」という声が聞かれます。会場ではマスク着用、手指の消毒をはじめ、卓とマーじゃん牌の消毒を徹底しています。

健康マーじゃんの利点としては「頭の体操になり、友達づくりに適しています。高齢になっても長く楽しむことができます」。参加者は5代から80代のシニア層が中心。90歳を超えて

始めた人もいます。蒲原さんは家庭マーじゃんから始め、愛好歴40年ほど。大会に出るなど主に競技として親しんできました。



東 京

解説で使うマグネットの牌を手に、健康マーじゃんのメリットを語る蒲原史起さん



飛沫防止シートを使って健康マーじゃんを楽しむ人たち10月、中央区の初心者講座会場で

た。「マーじゃんには3密というイメージがあります。ゲームでの発声はリーチ、ポンなど数少なく、競技マーじゃんの大会で私語は禁止されています」

「今後は、冬に室温を保ちながら換気するのが課題。活動の全開に向け、やれることはすべて実施していきたい」と意気込んでいます。

(ライター・福田淳一)

かんぼり・ふみき

東京都生まれ。文教大学情報学部卒。競走馬の関連事業会社で働き、日高管内日高町の軽種馬牧場に10年余り勤務。2011年に札幌に転出し、マーじゃん店勤務を経て、18年にNPO法人ライフアップを立ち上げ理事長に。サークルの参加者を募集中で、連絡は蒲原さん 00022・00006 Kanbara 258@gmail.com。ライフアップのホームページは<https://lifeup.npo.com>